

令和4年度 大阪府立高槻北高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

校名	府立高槻北高等学校
校長名	青竹 二郎

開催日時	令和4年11月25日(金)
開催場所	府立高槻北高等学校 2階 会議室
出席者(委員)	米津俊司会長、本村康哲副会長、丹家 敬委員、栗原 綾委員、柏原泰和委員、重村秀則委員
出席者(学校)	青竹二郎(校長)、伊藤倫隆(教頭)、山地謙一郎(事務長)、上田千歳(首席)、松本康子(首席)、安田正彦(総合調整部長)、藤塚雅弘(記録)
傍聴者	なし
協議資料	冊子資料 ①令和4年度 第2回学校運営協議会次第 ②令和4年度 第1回学校運営協議会議事録 ③委員名簿ならびに本校出席者一覧 ④配席図 資料編 ⑤令和4年度学校経営計画及び学校評価 ⑥令和4年度 第1回学校教育自己診断結果 ⑦令和4年度 第2回学校教育自己診断質問用紙 ⑧スクール・ミッションについて ⑨令和5年度使用教科書選択一覧表 ⑩大阪教育大学キャンパスガイド2022 ⑪令和4年度 教志入門日程
備考	

議題等(次第順)
1 開会宣言(教頭) 2 開会挨拶(校長) 3 本校の現状と課題 令和4年度学校経営計画の進捗状況について(校長) 令和4年度 第1回学校教育自己診断結果について(松本首席) 令和4年度 第2回学校教育自己診断質問事項について(松本首席) スクール・ミッション(案)について(校長) 令和5年度使用教科書選択について(教頭) 4 質疑応答ならびに協議 5 閉会挨拶(校長) 6 閉会宣言(教頭)

協議内容・承認事項等（意見の概要）

定刻に開始され、コロナ感染拡大防止の観点から本日の協議会も1時間程度とすること申し合わせ、開会した。

校長および担当教員から資料に基づき説明があり、質疑応答がなされた。

令和4年度学校経営計画の進捗状況について

（委員）

PC・タブレットの普及に伴う業務の効率化を図るための職員会議のペーパーレス化について状況を伺った。小学校・中学校も会議のペーパーレス化が可能である旨も伺い、ICTの向上には目を見張るものがある。また、先の会議でも話題になったICT機器の活用による授業内容の効率化及びデータの共有化が当初の目標に近づいている印象を受けた。

（委員）

大学進学に伴う大学共通テスト出願者が予想より下回ったことに関連して、大学進学に対する生徒の状況を小・中学校からもお聞きしたい。

（高校）

生徒自身が大学受験は早く終わらせたいとの思いから推薦入学に主眼に置いており、国公立受験に必要な大学共通テストの出願者が減ってきている。

（委員）

中学校では高校受験の段階から各大学への校推薦入学数を基準に高校を選択している。

（委員）

小学校では卒業生91名中20名が大学進学を意識して私立中学校を受験している。

（委員）

数年前から中学校においての進学指導よりも塾の進学指導を重きに置いている傾向がある。大学進学については小・中・高校が情報共有と連携を更に強化して進路指導を行っていく必要がある。

（高校より報告）

前回にご指摘をいただいた、「教志コース設置から10年目を迎えるにあたり何人の卒業生が教員になっているかを実績として示しめしていく必要がある。」について途中経過として報告したい。38・39・40期生3学年（大学4年次・卒業後2年と短大卒および2年次生）184名に11月中旬から12月中旬にかけてWebでの調査を行い現在調査中であるが41名から回答があった。内訳については、小学校の教諭および採用予定者が28名、中学校の教諭が1名、幼稚園教諭および保育園の保育士が9名の結果であった。次回に報告する。

令和4年度第1回学校自己診断結果およびについて

令和4年度学校教育自己診断質問項目について

スクール・ミッション（案）について

（委員）

家庭内でのスマホの使用については寝ている時間以外は全てスマホを操作しており、生活態度も「ながら生活」になっているため家庭内での注意はすでに不可能な状態である旨をお聞きした。自転車の通学指導については毎朝近隣にて教員が通学指導をしており、近隣からも大変感謝されているように伺った。アドミッションポリシーについては、アンケート調査を高校1年の7月に行うのは適当な時期だと思い納得している。

（高校）

スマホ使用の校内使用ルールは昼休み・授業終了以降になっている。何か月に一回程度ルール違反者（歩きスマホを含む）が出ている。

毎日のように行っている自転車通学者に対する指導が功を奏し、マナーの向上に繋がっているように思える。また、スクール・ミッション（案）についてはご確認をお願いしたい。

(委員)
資料3-3、I-12の校内研修について本年度はどういう内容を行ったのか次回の会議で伺いたい。
小・中学校の校長との懇談での話しであるが、各校においても若手の先生が増えてきており積極的に業務をして
いただいているが、やはり基本的なことが身についていないとの声があった。教員の資質向上の観点からも小・中
学校の委員の先生にも実態も伺いたいと思っている。

全体の項目について

(委員)
学校教育自己診断の平日の授業以外での一日の平均勉強時間について、3年生が極端に減っている。
また、スマホ・携帯電話の1日の平均利用時間について3年生が極端に増えているデータが出ている。
受験勉強をしているはずなのに3年生に何がおこっているのか気になる。

(高校)
一昨年の5・6月まではコロナ禍の影響で高校を閉鎖されており、現3年生が1年生時の年度になる。
学校閉鎖により自宅での勉強時間が多かったが一昨年のデータと昨年のデータと比較すると勉強時間が
極端に減少している。スマホ・携帯電話の1日の平均利用時間が増加していることも含めて現3年生の
集団の特性として捉えている。

(委員)
小学校でもキャリア教育に力をいれている。中学校体験でのスタッフとして中学生がサポートして
くれている姿、北高の教志コース生の実習を行っている姿をとおして、中学生・高校生の先輩の
身近な存在とおして「あのような人になりたい」「こういう仕事をしたい」と感じるような教育を中学生
・高校生と一緒に実施していきたい。

(委員)
SNSのトラブルが「0」というのは高校生として自己解決できる年齢なのかと感じている。現在中学
から小学生へトラブルの問題が低年齢化してくており、今後も地域と連携してトラブルを減少させて
いくことが大事な視点であると思っている。

(委員)
スマホの使用については難しい問題ではあるが、家庭での約束ごとが最も大事であると思っている。
今後は各家庭でスマホの使用についての約束ごとの検討が必要ではないか。

(委員)
現在の高校生は学校行事も制限され、我々が思っている以上に抑圧されて高校生活を送っているように
感じている。制限され抑圧された部分があり学校が楽しくないとの思いから、その分スマホに流されている
のではないか。ここ数年のコロナ禍の影響で中学校では修学旅行も行けなかった世代である。
11月に行われた修学旅行がどれだけ楽しい旅行であったかと想像している。
今後大変な状況が続くと思うが、予定されている行事を教員の努力によって引き続き行って
いただきたい。

(委員)
スマホの使用の問題については我々の子ども時代と現在の世相の違いがある。我々の子ども時代は
あたりまえに家には母親がおり、躾も厳しかった。今はほとんどの母親が仕事を持っている時代であり、
子どもの教育も含め、何らかの手を打つ必要があるのではないと感じている。
先日ボランティアの方から北高の自転車通学について自転車のマナーが向上していることを北高へ
伝えてほしい旨を伺った。

(委員)
地域の方から北高はすばらしい学校であるとの話を伺った。それも普段の先生方の努力のたまもの
であると思っている。今後も大変な事も多々あると思うが高校の3年間は一生の進路を決める大事な
時期であるので今後も頑張ってほしい。

以上の質疑応答があり、教頭から次回の開催時期が伝えられ閉会宣言がなされ、校長から謝辞が述べられ
閉会した。

次回の会議日程

日時	令和5年1月中・下旬に開催予定
会場	府立高槻北高等学校 2階 会議室